


タイトル	富士山に農鳥が現れました
開催日時	5月1日（月）
開催場所	富士山
内容	<p>富士山に「農鳥（のうとり）」が現れましたので、お知らせします。</p> <p>今年の農鳥は、例年に比べ雪が少なく、また気温の高い日がたびたびあったことから例年よりも早い出現となりました。</p> <p>麓では田植えに向けて準備が進み、新緑の爽やかな季節とあいまった富士山が訪れた方々を癒してくれるでしょう。本市の今日の予想最高気温は、20℃。夏山シーズンは、もうすぐです。</p>  <p>【農鳥（のうとり）とは？】</p> <p>4月下旬～5月にかけて出現する 7合目～8合目標高 3,000mあたりの鳥の形状をした残雪。農鳥が出る頃に種籾（たねもみ）を苗間に下ろし、それが卵型になったら田植えをする目安としていた。今は農作業が早まって、実際には農鳥が出現する頃に田植えを行うのが実態。（富士八海をめぐる：博物館刊より）</p>

【いつ頃から？】

文化十一年（1814）に完成した『甲斐国志』と同じ時期に書かれた『隔搔録（かくそろうく）』に農鳥の記述がある

近年の富士山の農鳥（のうとり）記録

2009年（平成21年）	6月7日
2010年（平成22年）	5月21日
2011年（平成23年）	5月13日
2012年（平成24年）	6月4日
2013年（平成25年）	5月24日
2014年（平成26年）	6月3日
2015年（平成27年）	4月6日
2016年（平成28年）	5月12日
2017年（平成29年）	5月11日
2018年（平成30年）	5月11日
2019年（平成31年／令和元年）	4月25日
2020年（令和2年）	5月14日
2021年（令和3年）	5月18日
2022年（令和4年）	4月29日
2023年（令和5年）	5月1日

※農鳥は「のうとり」と読む 関東圏は濁音になるが、郡内は濁らない

問合せ先	富士山課	担当者名	舟久保・榊	連絡先	内線 424
備考					